

設計図書等に関する質問・回答書

工事番号 加庁整請第1号

工事名 令和8年度 加美町新庁舎建設工事

番号	質問事項	回答事項
1	構造図 S-9 基礎伏図ビットスラブPSO 配筋で短辺方向・長辺方向共D10@200の基礎 (F1, F2)、基礎梁への定着は必要でしょうか。	必要となります。
2	杭工事プレボーリング拡大根固め工法の許容鉛直支持力の拡大比 ω (オメガ)は、 $\omega=1.0$ でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。
3	外壁杉板の長さについて 通常長さは4mとしていますが、今回 ≈ 4.2 mの材料が必要になりますが、4m超えの材料は、特寸扱いでコストアップもしますし、今回は、町産材との事で山で切り倒し時点で、間に合う数量分を ≈ 4.5 mでの調達が必要になります。 ※別の部位に使用する材料もいっしょです。上記の考えかたでよろしいでしょうか。	材寸はお見込みのとおりとし、詳細はD-4特記仕様書-12木工事-13町産木材に記載のとおり、町産木材供給者、伐採・製材(加工)業者と別途調整しております。
4	外壁杉板の下地について 設計図D139図の外壁詳細 レールファスナーがアルミでは、最下部のアンクル表記が違っているようですが、部位別に確認いたします。 ・ベースアングルはL-65×65×6L-100 スチール製 ・レールファスナーは、L-75×50×5(通し)アルミ製 ・最下部ファスナー間隔は250mmである ・一般部ベースの水平方向と垂直方向の取付間隔の記載がありません。回答願います。	設計では、ベースアングル、レールファスナー、最下部ファスナー間隔はお見込みのとおりです。また、一般部ベースアングルの取付間隔は水平方向@900mm、垂直方向は仕上材留め付け間隔によりますが、@300mm～450mm程度を想定しています。 なお、レールファスナーは押出成形セメント板との一体構成となるため、詳細は採用メーカー仕様によります。
5	外壁材の固定方法について D-139図を確認するとビス止めになっていますが、W120mmなのでファスナー部各2点のステンレスビス止めでよろしいですか。 ・ビスの納まりですが、図面はもぐっていますが厚み15mmなので抜ける可能性があります。図面通りか、例：ワッシャー付き六角ビス表しにするのかご指示願います。	ビス止めについてはお見込みのとおりです。ビス納まり詳細については現場協議とします。
6	外壁材を杉板材(特1等)で施工するにあたり、完成後に乾燥収縮による変形や、節抜け、割れが発生する可能性があります。その対応については、1年間保証でよろしいですか。 それ以降については、定期的に保護塗装及び外壁修繕等のメンテナンスを別途で行っていただく考えでよろしいでしょうか。	保証については通常の保証の範疇とし、メンテナンスは別途とします。
7	屋根下地通気垂木間隔について 硬質ウレタンフォームがW455を垂木間に入れるので455+45で基本ピッチ500mmでよろしいでしょうか。	基本的には問題ないと考えますが、詳細は屋根材の留め付け間隔など、採用される屋根材の仕様によるため、現場協議とします。
8	D-139図 議場化粧梁のボルトM10溶接について、溶接部が破断すると危険なので、上部鋼材に通しボルト固定にしてよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。詳細は現場協議とします。
9	屋上屋根軒先水切り下地について 内訳に記載がありませんが、D-140図に厚みが45mmと記載されています。45×240に段納まりふかし下地が12×90でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。詳細は現場協議とします。
10	D-140図において屋根の捨て唐草を広小舞の納まりでなく、硬質木毛セメント板に止めていますが、広小舞なしでの施工でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。詳細は現場協議とします。

番号	質問事項	回答事項
11	S-13 図屋根伏図の鉄骨母屋について 中間～上部母屋はY3通りからY6通りまでになっていますが、Y6～Y7間のG7部材隅木まで延長するのか回答願います。延長に伴い他部材も増えればご回答願います。	鉄骨母屋はD-36矩計図のとおり、Y6～Y7間の隅木まで延長となります。 数量は見込んでおります。
12	S-29図のB294部材について 議場天井頂部に一部現れると思いますが、意匠図にありません。D-141図右下詳細図参照でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。詳細は現場協議とします。
13	建具枠木材について 参考内訳書ではスプルスと記載があります。D-04図特記仕様 木工事3項目は、造作用集成材で、スプルス（ラジアタパイン）の記載があります。 スプルスは、現在国内には原版の在庫している所が小数量で、現時点では入手が難しいとの事です。 樹種はラジアタパインで、集成材を使用したいのですが、よろしいでしょうか。	お見込みのとおりでよろしいです。詳細は現場協議とします。
14	木工事の町産木材について 現時点では資材が購入できるか不明です。工事の進捗を優先で、町産木材が揃わない場合は県内産木材を使用してよろしいでしょうか。御指示願います。	D-4特記仕様書-12木工事-13町産木材に記載のとおり、町産木材利用については現在、別途供給可能なスケジュールで伐採を検討しています。番号3の回答も参照ください。 詳細は現場協議とします。
15	特記仕様書【施工条件明示書】中の4.(2)工事請負締結後における設計単価の変更について。 条件欄に『ある』に印が付いております。最近の世界情勢を鑑みれば、原油価格の高騰による影響が建築資材等に於いて4月以降値上がりするのではないかと予想されます。急激に資材単価が高騰する場合は協議により物価スライドを対応して頂けると考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	工事請負契約書第25条に定める各種のスライド条項に応じて対応いたします。詳細は現場協議とします。
16	工期について 前回の入札公告に於いて、「契約日の翌日から令和10年3月31日まで」注文書では、建物本体は令和9年12月末の引き渡しを予定と記載されておりますが、再公告の入札及び開札が約1ヶ月延期になっています。また、施工条件明示書に於いては週休2日工事対象にもなっています。 現場は地域性を考えた時に冬期間は降雪により工程に影響が出やすい事から、完成工期に対して協議変更は可能でしょうか。御指示願います。	お見込みのとおりでよろしいです。
17	共通仮設(積上)について ・敷鉄板について、仮設計画上でヤード等が軟弱な場合は、安全確保のため鉄板の増が発生する可能性があります。その際、協議の上、増減精算の対象になるか確認します。 ・クレーンについては、25tラフタークレーンが51日と16tラフタークレーンが33日計上されていますが、建方計画しただけでは、25tラフタークレーンは、吊り荷重の過不足が発生して、50t～80tクラスのラフタークレーンが必要になると思います。その際、協議の上、増減精算の対象になるか確認します。	共通仮設(積上)について、敷鉄板や揚重費の計上は公共工事積算基準により算出しており、個々の状況に応じて現場協議によるものとします。
18	物価の変動に基づく請負金額の変更について、現在見積りが2026年2～3月単価が多い状態ですが、現在は石油の高騰があり各資材の値上がりが予想されます。その際、影響の出た資材については、増減精算の対象になるか確認します。	工事請負契約書第25条に定める各種のスライド条項に応じて対応いたします。詳細は現場協議とします。

番号	質問事項	回答事項
19	構造図S-10柱リストには鋼管STKN490B、参考内訳書の建築鉄骨工事P26には鋼管STKN400Bと記載あり相違があります。どちらが正しいか御指示願います。	図面(STKN490B)を正とします。差額が発生する場合は受注者と協議し変更等により対応します。
20	参考内訳書 建築 P10土工事、P127地下オイルタンク基礎において、土砂の場内運搬、残土処理が見込まれていないようですが、受注後協議となりますでしょうか。	残土の運搬費用は外構工事(土木工事)に計上しています。
21	図S-9、10においてX10、Y5Aは柱C4が正でF1がY5ではなく、Y5AがF1になると思われまして御指示願います。(図S-14、18軸組図も基礎伏図と同様)	フーチングの位置に誤りはなく、図面の表記のとおりとなります。
22	機械設備図に添付の特記仕様書において、外構工事範囲の記載はありますが、屋内及び屋外機械設備工事範囲の記載が確認できません。屋内及び屋外機械設備工事範囲に係る特記仕様書があればご提示ください。 該当する特記仕様書がない場合は、本工事における屋内及び屋外機械設備工事の範囲をご指示ください。	機械設備の外構工事範囲は、外構図L-22～L-24によります。
23	受水槽、消火ポンプ廻りの制御関係について、機械設備図及び内訳書に記載がありません。本工事に含まれる場合は、内容をご提示ください。	受水槽については定水位弁によりポールタップで補給、ポンプ発停は圧力低下によりポンプが自動で加圧、電氣的に特別な仕様はなく一般的な加圧給水ポンプを想定ください。地震時については感震器により自動遮断とします。 消火ポンプについても一般的な消火栓ポンプ制御盤と始動装置を想定しており、E-64に図示のとおりとなります。
24	パッケージの集中リモコンおよび拡張コントローラを含む集中幹線の配線が図面より確認できません。配線方法をご指示ください。	エアコンは個別リモコンのほか、集中リモコンでの操作となります。集中リモコンは守衛室と執務スペース各所等での単純な操作となっており、特に自動制御的なものはなく、冷媒共巻き操作線および集中リモコンの操作線のみとなります。
25	手元リモコン(RC)が図中に複数個取付けされている箇所の各配線は、どの系統の室内機が対象となるでしょうか。	手元リモコンは室内機の個数分を設けており、最寄りの全ての室内機と対になるよう計画しています。
26	図番 M-19～21は自動制御設備工事の区分に該当するとの認識でよろしいでしょうか。また、上記内容23～25の詳細が明確でなく内訳書にも記載がないため、現状では積算ができない状況です。つきましては、内容が明確に分かる計装図をご提示いただけますでしょうか。	特に自動制御的なものはなく、エアコンは個別リモコンと複数の集中リモコンによる操作、配線は操作線のみとし積算してください。
27	特記-2、設備工事区分表に消火器の記載がありますが、内訳書および設計図書には該当する記載が見当たりません。 消火器は設備工事に含まれるものと理解してよろしいでしょうか。設備工事に含まれる場合は、設置数量および仕様をご指示ください。	位置および数量は建築図D-41～D-53の平面詳細図によります。工事の積算には含めないこととし、受注者と協議し変更等により対応します。
28	指定仮設工事の交通誘導員の人数と、揚重機械の台数について記載されている数量を超えると予想される場合は、協議し変更対応をしていただけてと考えて宜しいでしょうか。	交通誘導員の人数は現場協議によりますが、揚重費の計上は公共工事積算基準により算出しており、個々の状況に応じて現場協議によるものとします。
29	数量内訳書の計画数量に対して、実施数量で大幅に差異が生じた場合についても、協議し変更対応をしていただけてと考えて宜しいでしょうか。	個々の状況に応じて現場協議によりますが、設計上の積算は設計数量となるため、実施工数量との精算は基本的には行いません。
令和 8年 3月31日		回答者 総務課長 佐々木 実